

「こんな時こそ読書をしよう」と言うけれど、図書館は閉まっているし、本屋に行くのは怖いし……という人も多いと思います。無料で小説が読めるサイト（電子図書館「**青空文庫**」など）もあります。「**tree**」というサイトでは、50人以上の作家が1日1話の小説をつないでいく特別連載「Day to Day」という企画もあります。教科書も意外と？面白いです。学校に来た時には図書室で本を借りることもできます。また、自宅にいるとなかなか声を出さない人もいることでしょう。音読は大人にも人気ですが、声を出すことで気持ちが落ち着き、ストレス解消、さらに脳が活性化されてやる気がでるそうです。朗読やプレゼンテーションが上手な人はかっこいいですよ。目指せ、中島雅弥先生！（←声優並みなんです！）

### その1 早口言葉に挑戦（日テレ「#早口言葉でエール」より）

- ① 密集阻止、密接阻止、密閉阻止 ×3回
- ② 学校 急遽 休校 家で自習 超集中 長州力 ×2回 ←義堂アナ 4秒22!
- ③ きつい時期 傷つきつつも 危機突き破る 絆あり ×2回
- ④ 会うより 今 愛あるのは 会わないで言う愛してる ×2回
- ⑤ 手洗いじゃぞ うがいじゃぞ 距離を取るんじゃぞ 今の不満我慢で自慢の日本にするんじゃぞ



### その2 アナウンサーのように正確な読み方と速さを身に付けよう

NHKのアナウンサーは1分間に300文字を読むように訓練しているそうです。その速度が相手に伝わりやすい理想の速度です。教科書の説明文の一段落をこの速度で読んでみましょう。まず、読む部分の文字数を数え、600文字なら2分のように目標を決めて、実際に声に出して読んで計ってみましょう。

### その3 強弱記号で物語を読んでみよう（記号の意味は音楽の教科書を参考に！）

#### 裸の王様

ふつうのはやさで

アンデルセン童話

町には大勢の人が集まってきました。 **f** 「王様のパレードがやってきたぞ」 ところが、皆は王様を見てビックリ。 **pp** 「王様は裸じゃないか」 しかしそれを口にする人はいません。 自分が **mf** 愚か者だと思われたくないからです。 皆は **f** 「なんて美しい洋服だろう」「これは素晴らしい」と口々に褒めました。 そのとき、小さな男の子が王様に向かって言いました。 **ff** 「王様は裸だよ」 **mp** 「しーっ、そんなことを言うてはいけないよ」 男の子のお母さんは慌てました。 でも男の子は **fff** 大声で「だって裸だよ。王様は裸だ」 周りのみんなは大笑い。 男の子に続いて **mf** 「本当だ。王様は裸だ」「裸の王様だ」 王様は恥ずかしくなりましたが、歩き続けるしかありませんでした。

※ 国語の教科書教材にも強弱記号を付けてみましょう！「走れメロス」（2年）や「坊ちゃん」（1年）がおすすめです。